

カーボンフットプリント制度試行事業  
カーボンフットプリント・ルール検討委員会  
第6回会合 議事要旨

日時： 平成23年1月27日（木）13：00～15：00  
場所： ベルサール神田 Room2+3

●出席者

稲葉委員長、平尾副委員長、玄地委員、齋藤委員、須田委員、辰巳委員、西尾委員  
(出席5名、欠席2名)

●議題

1. ルール検討委員会の年度末に向けた進め方について
2. ルール見直し検討について
3. 各種WG等の設置及び報告
4. 広範囲PCRを用いた実証事業の現状報告について
5. エコプロダクツ2010の出展報告について
6. 今後の予定

●議事概要

- ・ 議題1. ～議題5. につき、事務局より説明が行われた。
- ・ 議題1. について、年度末までに今回を含めて3回開催することが確認された。
- ・ 議題2. について、検討・審議が行われた。
- ・ 議題3. ～議題5. について報告内容の確認および質疑応答が行われた。

(1) 「議題2. ルール見直し検討」について

- ・ サプライヤーが、最終製品PCRに引用されていない中間財PCRにもとづく検証済みデータを提供した場合、これを最終製品メーカーが一次データとして利用することを認めるか。次回までに事務局で整理した上で、あらためて検討する。
- ・ 引用可能な中間財PCRが認定済みの場合、これを引用するように事務局が紹介するなど運用面での工夫が必要。
- ・ 一次データを収集した結果、二次データよりも大きな数値となった場合、二次データを採用してCFPの数値を小さくしようとすることを認めるか。調達した原材料について検証済みデータがあるならば、二次データを用いずに検証済みの一次データを用いることを義務づけ

るべきではないか。次回までに事務局で整理した上で、あらためて検討する。

- ・ 中間財PCRを引用する際、最終製品PCRにて番号を特定してしまうと、中間財PCRが更新されると最終製品PCRも連動して更新する必要がでてしまう。その都度、最終製品PCRを更新することはPCR認定において混乱をきたすことから、CFP検証において対象とした方が現実的なのではないか。
- ・ PCRを引用する際、「認定PCR番号を特定しない」との事務局提案に対しては、委員により賛否が分かれた。次回までに事務局がCFP検証時のメリット・デメリット等を整理した上で、あらためて検討する。

#### (2) 「議題3. 各種WG等の設置及び報告」 ②サービス検討WGについて

- ・ 廃棄物処理のような最終製品にとって中間財PCRのように扱われるサービスについても対象となるよう検討して欲しい。
- ・ サービスを用いることによってCO2削減を主張したい事業者が多いように思われる。難しいかもしれないが、削減ルールとの兼ね合いについても議論して欲しい。

#### (3) 「議題3. 各種WG等の設置及び報告」 ③CFPと国内クレジット制度との連携の在り方研究会の設置について

- ・ 本研究会を新たに設置することが承認された。
- ・ 来年度実施の実施を念頭に置いて議論するのは良いが、実施を前提としないように注意して欲しい。
- ・ CFPに国内クレジットを取り込んで表示となっているが、それが良いのかどうか、そこから議論すべき。ビジネスとしてオフセットするのはかまわないが、CFPの中で「ゼロ」と言ってよいのかどうか。
- ・ ISOではオフセットを算定に含めない方向で議論が進んでいる。我が国のCFP制度としてどうすべきか、考慮しながら議論して欲しい。
- ・ ゼロ・カーボンという言葉は、世界的にみてグリーンウォッシュと見なされるおそれがあり好ましくない。資料から削除する
- ・ クレジット関連の制度は複数あり、複雑なので、専門家の意見も聞きながら、整理しながら議論することが必要。

#### (4) 「議題4. 広範囲PCRを用いた実証事業の現状報告について」について

- ・ 来年度も実証事業を継続するかどうか検討して欲しい。その際、エネルギー使用型製品の広範囲PCRについて今年度は実績がなかったことも含めて検討すること。
- ・ CFPマークに「広範囲PCR」と記載するのは、消費者にとってわかりづらい。
- ・ 実証事業の成果にもとづくPCRの分類体系については、現在検討中とのことであるが、同じ食品であっても、使用・維持管理段階のエネルギーの利用方法によって算定方法も異なる

ならば、これはPCRとして分かれてくるのではないか。海外ではウォルマートなどが進めているサステナビリティ・コンソーシアムにおいて、電気機器、農業・食料関連、日用品と大きく3つの分類に分ける考え方を示している。こうした事例も参考にしながら進めていってはどうか。

(5) 「議題5. エコプロダクツ2010の出展報告」について

- ・ 来場者アンケートのうち、CFPマークを用いた多様な表示方法の検討に関するアンケート結果の分析は、多様な表示検討WGでの成果として、次回もしくは次々回に報告する。
- ・ エコプロダクツ展では、バラにも表示されていた。こうした身近なモノにもっとマークが付いていくと良い。

以 上